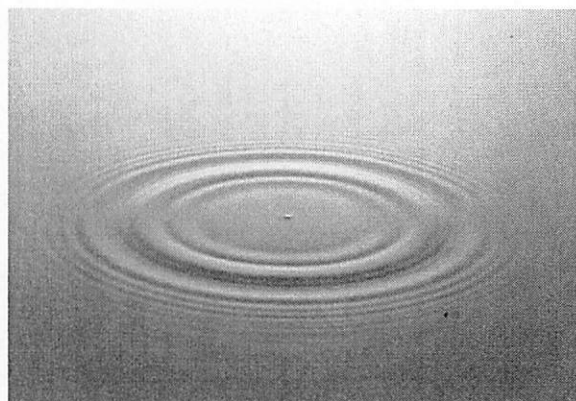


日本高等教育学会第5回大会 発表要旨集



平成14年5月25日(土)・5月26日(日)

名古屋大学図書

1 学院大学



11461658

新世紀を迎え、“元気モード”に!!

高等教育シリーズ第21・22集

◆新・大学入試と教育改革との連動!!

全入期へのパラダイム転換——

AO型入学選抜の多様な“進化”

～高校・大学の“教育接続”へのステップアップ～

[上巻]
●2000年11月発行
●A4判 318頁
●21,500円(税込)
[下巻]
●2001年1月発行
●A4判 330頁
●22,000円(税込)

◆AO型入学選抜の中間総括と“進化”の条件◆

～2001年度入試240校余の大学・短大への飛躍的拡大

◆[ケーススタディ] 多様な挑戦と実際◆

～私立大学・短大18校/国公立大学3校の詳細事例

▶上巻

- 第1章 AO型入学選抜の中間総括と“進化”の条件
田村哲夫、荒井克弘、高山裕司、横學、小野博
- 第2章 [大学学部] 多様なAO型入学選抜への挑戦と実際
岩手県立大学、東北大学(歯・工学部)、聖学院大学、名古屋学院大学、関西大学、岡山理科大学、松山東雲女子大学
- 第3章 [短期大学] 多様なAO型入学選抜への挑戦と実際
産能短期大学、金蘭短期大学
- 第4章 資料編

▶下巻

- 第1章 AO型入学選抜の多様な展開
天野郁夫、荒井克弘、久保光弘、久野猛
- 第2章 [大学学部] 多様なAO型入学選抜への挑戦と実際
東北学院大学、明海大学(歯学部)、早稲田大学(政治経済学部)、北陸大学(薬学部)、立命館大学、徳山大学、武蔵野女子大学(現代社会学部)
- 第3章 [短期大学] 多様なAO型入学選抜への挑戦と実際
三育学院短期大学、広庭文化短期大学
- 第4章 [2001年度新スタート] AO型入学選抜への挑戦
北海道大学(経・理・歯・薬・水産学部)、八戸工業大学、成蹊大学(経済学部)
- 第5章 資料編 (敬称略)

□高等教育資料シリーズ

第23集	[21C]大学・短大・大学院の改組転換・増設マニュアル	設置認可申請ガイド、6代目のリニューアル版 2001年8月刊 A4判 518頁 定価25,000円
第20集	21CNEWキャンパスの創造と計画	点検・評価から再開・リニューアルへ、32論考 1999年12月刊 A4判 524頁 定価35,000円
第19集	AO型入学選考の運営と実際	入試コンセプトの大転回—全入期戦略、14論考 1999年4月刊 A4判 332頁 定価24,000円
第17集	[事例編] 大学・短大の改組転換・増設の実際 [下]	ケーススタディ6 大学に学ぶ計画手法・実務のノウハウ 1998年4月刊 A4判 208頁 定価18,000円
第16集	[事例編] 大学・短大の改組転換・増設の実際 [上]	ケーススタディ7 大学に学ぶ計画手法・実務のノウハウ 1998年3月刊 A4判 208頁 定価19,000円
第15集	新・高等教育のデザインと政策展開	25人のキーパーソンが奏でる新世紀の高等教育像 1997年10月刊 A4判 420頁 定価26,250円
第13集	編入学定員の設定—その教育展開と経営評価	急減期の定員確保、連携・接続型教育へ、7論考 1996年2月刊 A4判 222頁 定価19,879円
第12集	「オープン」型短期高等教育への転換	ネットワークによる短大機能拡充のめざす、9論考 1995年12月刊 A4判 412頁 定価27,525円
第11集	短期高等教育システムの新たな可能性	短大のレゾナント、生涯学習時代を拓く、13論考 1995年6月刊 A4判 456頁 定価28,543円
第10集	短期大学の“改組転換”—その計画と実際	学科改組、4大化へのリモデル手法、10論考 1995年1月刊 A4判 442頁 定価29,563円
第9集	新私学財務管理の開発と実践 [普及特価版] 岩田 齊昭 著	健全自立財務に向けた点検・評価と改善のめざす 1994年3月刊 A4判 668頁 定価29,563円

□高等教育ハンドブックシリーズ

第①集	大学のセクハラ対策 ～相談・カウンセリング編～丹羽雅代・松倉ゆり著	セクハラ研修ライブ報告書、研修啓発実践ガイド 2001年4月刊 B5判 120頁 定価4,900円
-----	--------------------------------------	--

定価▷消費税・送料含む

●詳しいご案内パンフをお送りします。

☆インターネットは ☎ http://www.chiikikagaku-k.co.jp

E-mail kkj@chiikikagaku-k.co.jp

TEL 03-3234-1231

FAX 03-3234-4993



地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0082 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2

ご あ い さ つ

21世紀は、情報化、国際化そして高齢化の時代になるであろう、といわれてきました。しかし、現実には21世紀を迎えると、不透明化という新しい特徴がつけ加えられたように思われます。先の読めない、不安な時代です。と同時に、20世紀までに営々と築きあげてきた社会の諸制度が十分にその機能を発揮することが困難になってきたように思われます。とりわけ、社会制度の基盤となっていた信用が大きく揺らぎはじめたことは、社会の存続にとって重大な問題です。このような状況のなかで、高等教育を担う大学のあり方も問い直されています。

国内的にはリスクの多い、不安定な時代、国際的には強い競争力が求められる時代に若い人たちが健全に生き抜いていくためには、「頼れる自分」をつくりあげなければなりません。いま、日本の大学に求められているのは、「頼れる自分」となれる人材の育成です。「頼れる自分」とは、「自らの頭で考え」そして「自らの責任で行動する」自分です。こうした時代の要求を充たす教育・研究の機能を十全に果たすことができる新しい構造をもった大学に改造することができなければ、21世紀に大学が存続する意味がありません。このような問題意識をもって、第5回大会の全体テーマを『大学の構造改革』といたしました。

今回の大会では、シンポジウムをはじめ、3つの課題研究、そして50を越える自由研究の発表が予定されています。また、大会前日には愛知学院大学と日本高等教育学会の共催で特別講演「子どもの頃からの思い出と教育への想い」（松尾稔名古屋大学総長）を開催いたします。大学の構造改革を議論するのに先立ち、「教育とは何か」を語っていただきます。

愛知学院は、「行学一体」と「報恩感謝」を建学の精神として、禅的教養の豊かな社会人の育成を目指して明治9年に創設され、本年は大学開学50年にあたります。日本高等教育学会の第5回大会が本学で開催されるのを機に、「正師を得ずんば、学ばざるに如かず」という道元禅師の教えを、21世紀の高等教育にどのように活かすかを皆様とともに改めて考えたいと思っております。皆様のご参加を心より歓迎申し上げます。

日本高等教育学会 第5回 大会準備委員会
委員長 藤田幸男

日本高等教育学会 第5回 大会準備委員会

- 〈委員長〉 藤田幸男
 〈副委員長〉 篠田 弘
 〈委員〉 池田輝政、井上知則、馬越 徹
 加藤勇夫、酒井亮爾、新海英行
 二宮克美、早川太弍、丸山文裕
 〈幹事〉 竹市良成、小出龍郎
 〈顧問〉 小出忠孝

名古屋大学図書



日本高等教育学会 第5回 大会

平成14年5月25日(土)～26日(日)

愛知学院大学

大会 日程

5月24日(金) 大会前日

15:30～17:00 (P. 8)
公開特別講演「子どもの頃からの思い出と教育への想い」

松尾 稔 名古屋大学総長

(愛知学院大学・日本高等教育学会共催)
(愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会後援)

18:00～20:00 理事会 (楠元学舎)

5月25日(土)

9:15～受付 12号館玄関ロビー

10:00～12:00 〔自由研究発表Ⅰ〕
自由研究1 大学研究 (P. 10)
自由研究2 大学と職業 (P. 10)
自由研究3 カリキュラム (P. 11)
自由研究4 ITと大学 (P. 11)

12:00～13:00 編集会議(5F会議室)

13:00～15:00 〔自由研究発表Ⅱ〕
自由研究5 FD(ファカルティ・
ディベロップメント) (P. 12)
自由研究6 大学における研究 (P. 12)
自由研究7 大学評価 (P. 13)
自由研究8 アジアの高等教育 (P. 13)
自由研究9 学生の意識・行動 (P. 14)

15:15～17:45 課題研究1・2・3 (P. 8)
1. 大学設置形態の再検討
2. 学生層の多様化・流動化と大学教育
3. 短大の将来—コミュニティ・カレッジ構想

18:30～ 懇親会 (学院会館)

5月26日(日)

9:15～受付

10:00～12:00 〔自由研究発表Ⅲ〕
自由研究10 授業評価・開発 (P. 15)
自由研究11 高校と大学 (P. 15)
自由研究12 大学院教育 (P. 16)
自由研究13 高等教育財政 (P. 16)
自由研究14 国際動向 (P. 17)

12:00～13:00 シンポジウム 打合せ会
(5F会議室)

12:30～13:10 坐禅堂見学・体験坐禅会

13:10～13:40 総 会

13:45～16:30 公開シンポジウム (P. 9)
「大学の構造改革」

大会会場

愛知学院大学情報社会政策学部

12号館 (1F、5F、6F)

大会事務局 6F (内線611・612・651)

懇親会会場

愛知学院大学日進キャンパス内 学院会館(内線124)

大会事務局

〒470-0195

愛知県日進市岩崎町阿良池12 愛知学院大学 情報社会政策学部 気付

日本高等教育学会 第5回大会準備委員会

TEL: 05617-3-1111 (内線611・612・651) 竹市

FAX: 05617-3-4403

E-mail: jimuj@psis.aichi-gakuin.ac.jp

※25日(土)午後12時半以降} 交換業務をしませんので次の携帯におかけください。

※26日(日)終日 } 090-2616-0313 (いずれも事務局へつながります。)
090-2137-4443

大会参加のご案内

参加費：大会参加費（当日）5,000円
懇親会費（当日）5,000円

* 公開特別講演及び公開シンポジウムにつきましては、無料にて一般に公開して開催いたします。

学会年会費：大会会場では、学会年会費の納入は出来ませんのでご了承下さい。ただし、住所や所属の変更、新会員の申込書の配布などのための学会窓口は設けます。

入場：会場および懇親会場への入場には、必ずネームプレートをつけてください。原則としてネームプレートのない方は入場できません。なお、ネームプレートは日程終了後受付へお返しく下さい。

呼び出し：会場での呼び出しは行いませんのでご了承下さい。連絡事項は、受付近くの掲示板にてお知らせいたします。

食事：5月25日（土）は、12号館前の第3食堂、学院会館（徒歩5分）で食事が出来ます。5月26日（日）は、12号館前の第3食堂のみで食事出来ます。なお学内のコンビニエンスストア（ローソン）は両日とも利用できます。

宿泊：宿泊先の手配は各自でお願いいたします。

休憩室：12号館5Fに休憩室をご用意し、湯茶のコーナーを設けます。荷物のお預かりはいたしませんので、各自の責任でお持ちください。

懇親会：会場となります学院会館へは、学会会場より徒歩5分です。

交通案内：1. 名古屋空港利用の場合

名古屋空港から藤ヶ丘まではバス（名鉄バス）が便利です。料金は900円。8:00～18:00まで毎時50分発。所用時間約30分。次に藤ヶ丘から名鉄バス（愛知学院大学行）乗車。料金240円。所用時間約15分。

2. JR名古屋駅利用の場合

地下鉄東山線乗車、終点藤ヶ丘下車。料金290円。所用時間約30分。次に藤ヶ丘から名鉄バス（愛知学院大学行）乗車。料金240円。所用時間約15分。

発表者へのお願い

1. 次発表者席

次の発表者は前の発表が始まりましたら、次発表者席（右最前列）にお座り下さい。
事前にお伝えすることがある場合があります。

2. 発表終了時刻のお知らせ

以下の要領でイエロー・フラッグとレッド・フラッグをお示します。

（個人発表20分、共同発表30分）

（イエロー・フラッグ）

個人発表、共同発表とも質疑終了5分前（発表終了時）。

（レッド・フラッグ）

個人発表、共同発表とも質疑終了時。

3. 発表用機械器具

発表申し込み時に申し込まれた機器は準備しております。その他、必要な機材がありましたら事前にお申し出下さい。可能な限りご用意いたします。

司会者へのお願い

1. 発表および質疑応答時間

フラッグを参考に、予定時間をオーバーしないようご配慮下さい。

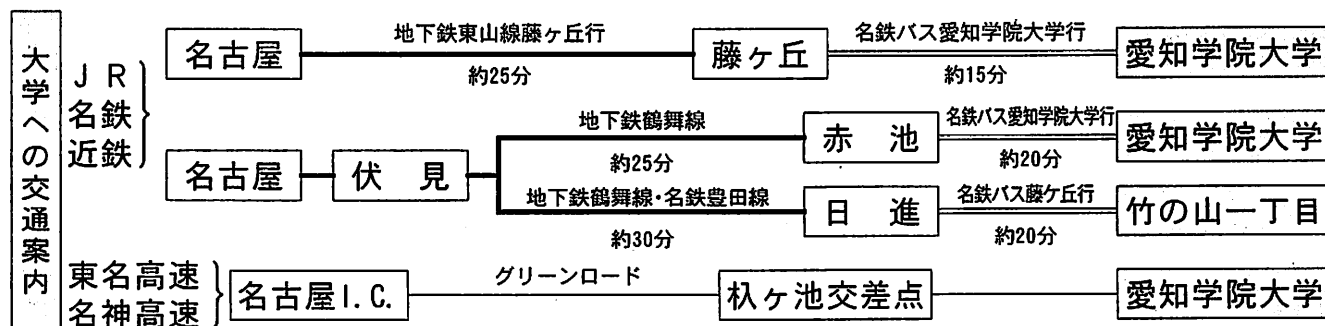
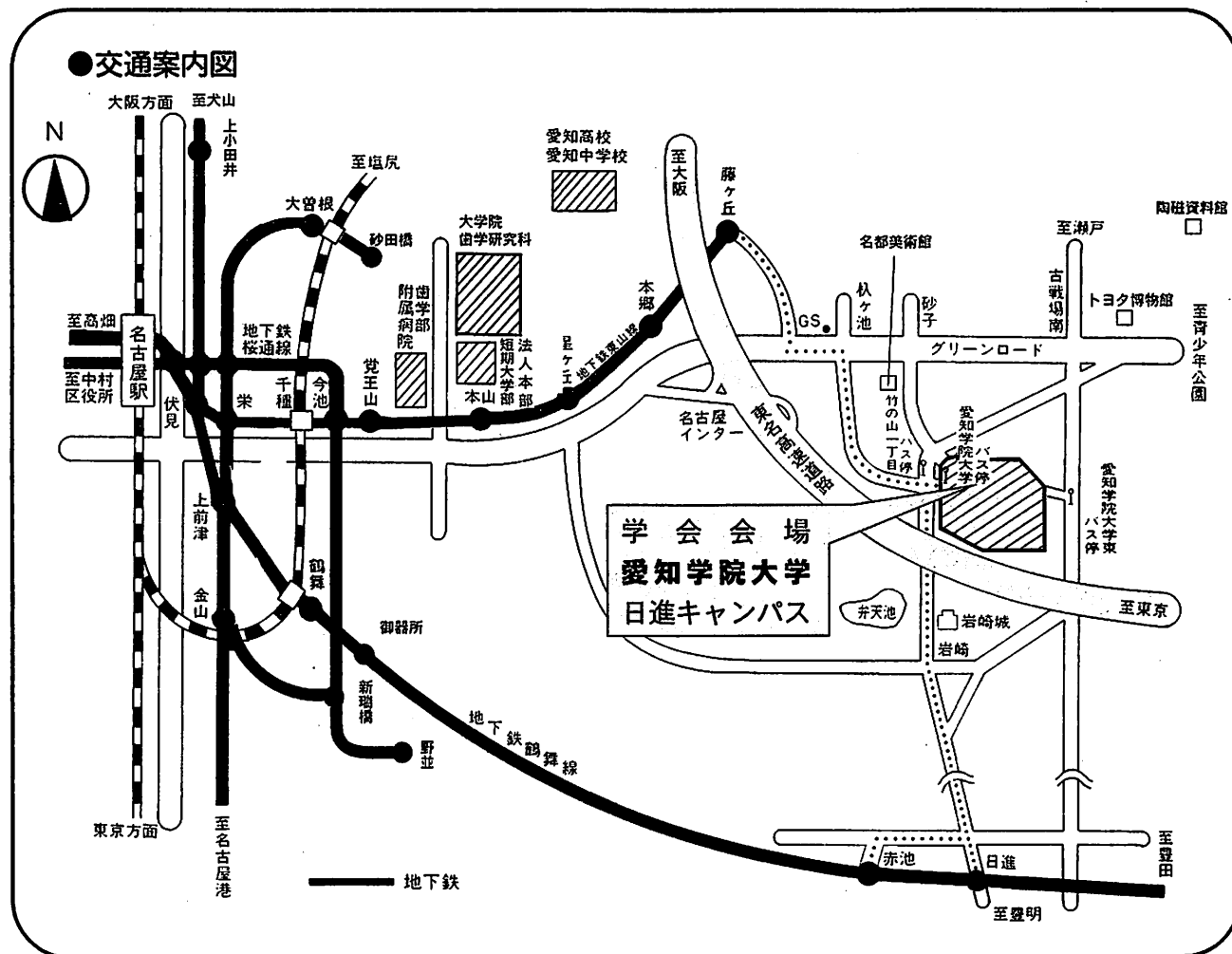
2. 司会者受付

司会者受付を別に設けますので、来場されましたら、まず受付にお越し下さい。

3. 総括討論

各セッションの最後に「総括討論」の時間を設けておりますが、利用できる時間は各セッションによってまちまちです。予定では時間がとれない場合もございます。この時間の活用方法は司会者にお任せいたしますので、必要に応じて早めに散会するなど、臨機応変に対応していただきますようお願い申し上げます。

会場案内図



日 程 表

5月24日(金)

15:30~17:00 公開特別講演会 (会場 12号館 G105教室)
 18:00~20:00 理事会 (会場 楠元学舎)

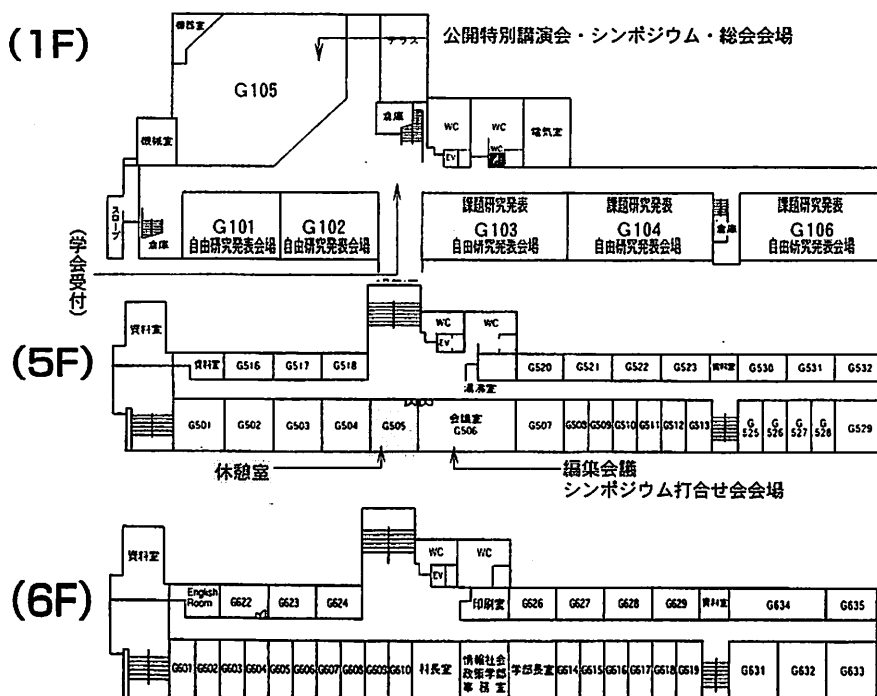
5月25日(土) 9:15~受付

会場	10:00~12:00 自由研究発表Ⅰ	昼食	会場	13:00~15:00 自由研究発表Ⅱ	会場	15:15~17:45 課題研究1・2・3	懇親会 18:30~
G101	自由研究1 大学研究	12:00 ~13:00 編集会議 (5F)	G101	自由研究5 研(ファカルティ・デベロップメント)	G106	課題研究1 大学設置形態の再検討	
G102	自由研究2 大学と職業		G102	自由研究6 大学における研究	G104	課題研究2 学生層の多様化・流動化と大学教育	
G103	自由研究3 カリキュラム		G103	自由研究7 大学評価	G103	課題研究3 短大の将来-コミュニティ・カレッジ構想	
G104	自由研究4 ITと大学		G104	自由研究8 アジアの高等教育			
			G106	自由研究9 学生の意識・行動			

5月26日(日) 9:15~受付

会場	10:00~12:00 自由研究発表Ⅲ	昼食	会場	13:10~13:40 総会	会場	13:45~16:30 公開シンポジウム 「大学の構造改革」
G101	自由研究10 授業評価・開発	12:30 ~13:10 坐禅堂 見学	G105	総 会	G105	公開シンポジウム 「大学の構造改革」
G102	自由研究11 高校と大学					
G103	自由研究12 大学院教育					
G104	自由研究13 高等教育政策					
G106	自由研究14 国際動向					

大会会場見取図
情報社会政策学部棟(12号館)

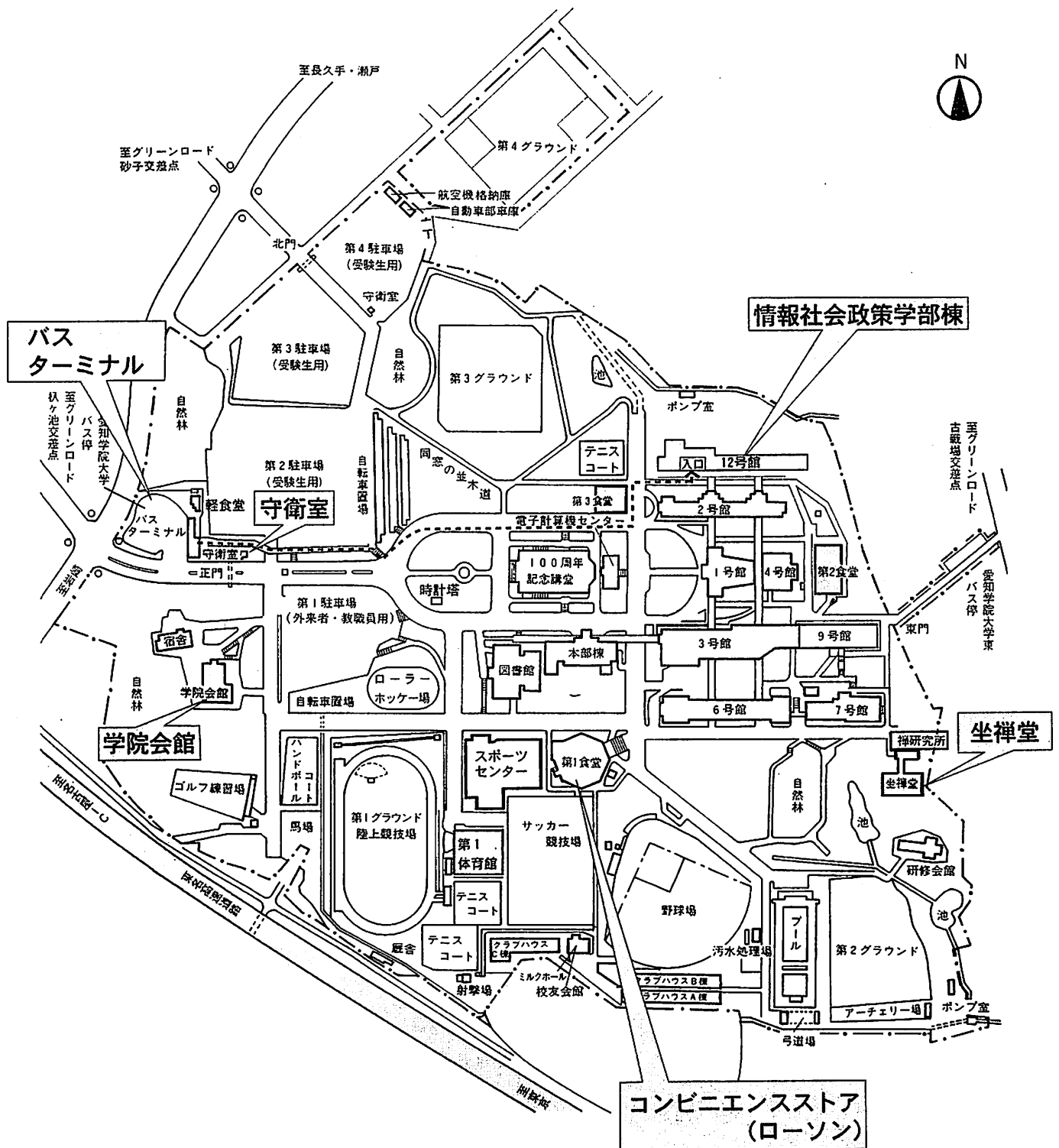


↑ 学会本部 Fax05617(3)4403

※Faxの受信は25日、26日両日可能です。

日本高等教育学会第5回大会会場

愛知学院大学 日進キャンパス



5月24日(金) 15:30~17:00 公開特別講演 会場 G105教室

愛知学院大学・日本高等教育学会 共催
愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会 後援

挨拶 愛知学院大学学長 小出 忠孝

「子どもの頃からの思い出と教育への想い」

松尾 稔 名古屋大学総長

「私は教育学の専門家ではありません。それゆえ、子どもの頃から現在に至るまでの自分の経験を語ることを通じて今回参加されている幅広い層の皆さんと一緒に、教育と深く関わる問題について考えていきたいと思います。」

司会 愛知学院大学教授 藤田 幸男

5月25日(土) 15:15~17:45 課題研究

1. 「大学設置形態の再検討」

会場 G106教室

金子 元久 (東京大学)

孫福 弘 (慶応義塾大学)

天野 智水 (長崎大学)

コメンテーター 澤 昭裕 (経済産業省研究所)

司会 山野井敦徳 (広島大学)

2. 「学生の多様化・流動化と大学教育」

会場 G104教室

森島 朋三 (大学コンソーシアム京都)

川嶋太津夫 (神戸大学)

馬越 徹 (名古屋大学)

司会 濱名 篤 (関西国際大学)

3. 「短大の将来ーコミュニティ・カレッジ構想ー」

会場 G103教室

清水 一彦 (筑波大学)

森脇 道子 (産能短期大学)

関根 秀和 (大阪女学院短期大学)

司会 館 昭 (大学評価・学位授与機構)

5月26日(日) 13:10~13:40 総 会 会場 G105教室

5月26日(日) 13:45~16:30 公開シンポジウム 会場 G105教室

『大学の構造改革』

(趣旨) 国公私の別なく、国際的に通用するためには大学そのものの構造改革が求められています。ここでは行政、国立大学、そして私立大学の立場から、いま何をしなければならないか、またそれをどのように行うかについて検討します。

合田 隆史 (文部科学省大学課長)
阿部 美哉 (国学院大学長)
奥野 信宏 (名古屋大学副総長)
河村 能夫 (竜谷大学副学長)

司会 天野 郁夫 (国立学校財務センター研究部長)

5月26日(日)12:30~13:10 坐禅堂見学・体験坐禅会

建学の精神である「行学一体・報恩感謝」の教育理念を実現するために、大学としては日本で唯一の正式な坐禅堂として1980年に開設しました。本学の禅研究所が毎週第2火曜日に実施している「火曜参禅会」は、教員や学生のみならず、広く学外からの参禅会員を募っているほか、希望者は随時参禅できる態勢を整えています。



5月25日(土) 10:00~12:00 自由研究1 会場 G101

○印：当日発表者

大学研究

司会：山野井敦徳 (広島大学)

- 1-1 20世紀初頭アメリカにおける大学拡張運動の展開
(10:00) -アメリカ・モデルの普及状況を中心に-
○五島敦子 (名古屋大学大学院生)
- 1-2 チェコスロバキアにおける社会主義高等教育改革
(10:20) -技術大学の成立を中心に-
○石倉瑞恵 (名古屋大学大学院生)
- 1-3 M. ウェーバーの大学組織論
(10:40) ○西根和雄 (広島大学)
- (11:00) 総括討論

5月25日(土) 10:00~12:00 自由研究2 会場 G102

大学と職業

司会：吉本 圭一 (九州大学)

- 2-1 「インターンシップ」と大学
(10:00) -職業関連学習をめぐる多様な志向性と組織のイニシアティブ-
○稲永由紀 (広島大学)
- 2-2 ドイツ高等教育における実務教育の比重
(10:20) ○岩井清治 (桜美林大学)
- 2-3 大学教育研究センター等の現状と課題
(10:40) ○有本 章 (広島大学)、○吉永契一郎 (新潟大学)
藤村正司、○加藤かおり (新潟大学)
- (11:10) 総括討論

5月25日(土) 10:00~12:00 自由研究3 会場 G103

カリキュラム 司会：阿部 和厚 (北海道医療大学)

- 3-1 人文系学部にとっての学士課程教育
(10:00) -「幅広い」カリキュラム編成とその構造-
○杉谷祐美子 (日本学術振興会特別研究員)
- 3-2 学士段階における学際的カリキュラムの変容要因に関する研究
(10:20) -教員の組織構成がカリキュラム理念に及ぼす影響を中心に-
○岡田佳子 (筑波大学大学院生)
- 3-3 家政学の構造的特質と実態についての事例研究
(10:40) -教育プログラムと教員集団を中心に-
○木本尚美 (県立広島女子大学)
- 3-4 医学生と看護学生合同による小人数グループ討論を中心とした倫理教育
(11:00) ○庄司進一、紙屋克子 (筑波大学)
- (11:20) 総括討論

5月25日(土) 10:00~12:00 自由研究4 会場 G104

ITと大学 司会：岩永 雅也 (放送大学)

- 4-1 e-Learning市場はどう立ち上がっているか？
(10:00) -ユーザー・ベンダー・コンテンツ-
○大多和直樹 (東京大学)
- 4-2 IT化する大学と教員の適応の実態
(10:20) ○吉田 文 (メディア教育開発センター)
- 4-3 情報通信(IT)関連人材育成に関する調査と検討
(10:40) -産業界と大学の需給マッチング問題-
○神谷武志 (大学評価・学位授与機構)
宮崎和光 (大学評価・学位授与機構)、小林信一 (筑波大学)
- (11:00) 総括討論

5月25日(土) 13:00~15:00 自由研究5 会場 G101

FD(ファカルティ・ディベロップメント) 司会: 小笠原正明(北海道大学)

- 5-1 「相互研修としてのFD」
(13:00) -公開実験授業の検討会の構造分析を通して-
○杉原真晃、藤岡完治(京都大学)
- 5-2 授業の参加観察に依るFDの組織化
(13:20) ○石村雅雄(鳴門教育大学)
- 5-3 シラバスを基点とした授業マネジメントの有効性
(13:40) -「ゴーイングシラバス」による新しい授業空間の活用-
○中井俊樹(名古屋大学)、○井手弘人(長崎大学)
池田輝政(名古屋大学)
- (14:10) 総括討論

5月25日(土) 13:00~15:00 自由研究6 会場 G102

大学における研究 司会: 荒井 克弘(東北大学)

- 6-1 高等教育政策と学術・科学技術政策の連携・統合に関する研究3
(13:00) ○塚原修一(国立教育政策研究所)、喜多村和之(早稲田大学)
- 6-2 大学の技術移転機関の多様性
(13:20) ○藤墳智一(宮崎産業経営大学)
- 6-3 学術研究に対する資源供給システムと研究成果
(13:40) ○山本眞一、○加藤 毅、小林信一(筑波大学)
- (14:10) 総括討論

5月25日(土) 13:00~15:00 自由研究7 会場 G103

大学評価

司会：安原 義仁 (広島大学)

- 7-1 (13:00) フィンランドにおける大学評価と財政配分とのリンク
-フンボルト型大学のめざすソフトランディング-
○米澤彰純 (大学評価・学位授与機構)
○渡邊あや (広島大学大学院生)
- 7-2 (13:30) ヨーロッパ大学評価における収斂の動向
○大佐古紀雄 (早稲田大学)
- 7-3 (13:50) 学術雑誌による研究評価の課題
○柴山盛生 (国立情報学研究所)
- 7-4 (14:10) 学士課程カリキュラムの機能と効果からみた大学評価
-組織としての認識の一致性-
○西本裕輝 (琉球大学)
○村澤昌崇 (広島国際学院大学)
有本 章、山野井敦徳、羽田貴史、小方直幸、冠野 文
南部広孝 (広島大学)
- (14:40) 総括討論

5月25日(土) 13:00~15:00 自由研究8 会場 G104

アジアの高等教育

司会：大塚 豊 (名古屋大学)

- 8-1 (13:00) 中国における民営高等教育機関の設置主体
○曹 燕 (東京大学大学院生)
- 8-2 (13:20) 中国における民営高等教育の機能的分化
○鮑 威 (東京大学大学院生)
- 8-3 (13:40) マレーシアにおける高等教育評価の動向
○杉本 均 (京都大学)
- 8-4 (14:00) 1990年代以来の中国における高等教育機関の統合
○黄 福涛 (広島大学)
- (14:20) 総括討論

5月25日(土) 13:00~15:00 自由研究9 会場 G106

学生の意識・行動 司会：武内 清(上智大学)

- 9-1 就学意識が変容する大学生
(13:00) -留学・休学に関するインタビューの分析を中心に-
○井本雅文(東京大学大学院生)
- 9-2 女子大学の存在意義に関する一考察
(13:20) -男子学生の不在による女子学生の行動と意識の変化に注目して-
○山田真紀(相山女学園大学)
- 9-3 学生の考える「自己成長」
(13:40) -多様化する学生層に対する支援-
○野口和枝(秋草学園短期大学)、○稲越孝雄(文教大学)
- 9-4 高等教育におけるメンタリングの意義
(14:10) -米国での知見の分析を中心に-
○渡辺かよ子(愛知淑徳大学)
- (14:30) 総括討論

5月26日(日) 10:00~12:00 自由研究10 会場 G101

授業評価・開発 司会：中井 俊樹 (名古屋大学)

- 10-1 学生による授業評価－課題と展望－
(10:00) ○井下 理 (慶応義塾大学)
- 10-2 学生による授業評価の実施と教員の反応
(10:20) ○橋本健夫 (長崎大学)
- 10-3 授業リフレクションと参加観察をとり入れた大学授業の改善
(10:40) ○藤岡完治 (京都大学)
- 10-4 授業改善に関する実践的研究 (その1)
(11:00) ○山内乾史、○米谷 淳 (神戸大学)
- (11:30) 総括討論

5月26日(日) 10:00~12:00 自由研究11 会場 G102

高校と大学 司会：山岸みどり (北海道大学)

- 11-1 地域別大学進学率の変動とその背景
(10:00) ○猪股歳之 (東北大学大学院生)
- 11-2 高大連携実施の経緯と現状
(10:20) - 専門高校の事例を通して -
○吉田武大 (筑波大学大学院生)
- 11-3 高校教育と大学教育の接続の改善への提言
(10:40) ○原 康夫 (帝京平成大学)
- 11-4 現代高校生・大学生の学習技術
(11:00) ○佐藤広志、○広沢俊宗 (関西国際大学)
- (11:30) 総括討論

5月26日(日) 10:00~12:00 自由研究12 会場 G103

大学院教育

司会：山田 礼子 (同志社大学)

- 12-1 大学院教育機会の需給構造
(10:00) -国立大学における入学志願者の集中と分散-
○濱中(万見)淳子 (東京大学大学院生)
- 12-2 社会人大学院修了者のキャリア展開と大学院教育のレリバンス
(10:20) ○本田由紀 (東京大学)
- 12-3 社会人大学院生の学習環境としての大学院の現状と課題
(10:40) -北海道大学大学院社会人院生調査をもとに-
○町井輝久 (北海道大学)
- 12-4 社会人大学院生の就学意識
(11:00) -『社会人学生のプロフィール調査』(平成12年)の結果から-
○笹井宏益 (国立教育政策研究所)
- (11:20) 総括討論

5月26日(日) 10:00~12:00 自由研究13 会場 G104

高等教育財政

司会：阿曾沼明裕 (名古屋大学)

- 13-1 私立大学の財務開示状況とその機関特性
(10:00) ○両角亜希子 (東京大学大学院生)
- 13-2 国立大学法人(仮称)の政策形成
(10:20) -財務を中心として-
○山本 清 (国立学校財務センター)
- 13-3 アメリカの大学における高授業料/高奨学金政策の実証分析
(10:40) ○小林雅之 (東京大学)、○濱中義隆 (大学評価・学位授与機構)
島 一則 (国立学校財務センター)
- 13-4 国立大学の教育研究条件と教育研究活動
(11:10) ○島 一則 (国立学校財務センター)
- (11:30) 総括討論

5月26日(日) 10:00~12:00 自由研究14 会場 G106

国際動向

司会：江原 武一(京都大学)

- 14-1 大学教育のカリキュラムとしてのスタディ・アブロード・プログラムと
(10:00) インターシップについての考察
-アメリカのリベラル・アーツ・カレッジにおける事例研究-
○長山道代(早稲田大学大学院生)
- 14-2 ヨーロッパにおける大学間の単位互換化
(10:20) -ボローニャ宣言以降の動向とドイツの事例-
○吉川裕美子(大学評価・学位授与機構)
- 14-3 アメリカ高等教育における学生の流動化とtransfer制度
(10:40) -マーケットメカニズムのなかでのシステム標準化-
○林 未央(東京大学大学院生)
- 14-4 初年次教育からみた新しい高大接続モデルの探求
(11:10) -オーストラリアの大学におけるグッド・プラクティス事例に基づいて-
○山本以和子(ベネッセ教育研究所)、池田輝政(名古屋大学)
- 14-5 経済リテラシーの日米比較
(11:30) -第4回生活経済テストの結果分析を中心として-
○山岡道男(早稲田大学)、浅野忠克(山村学園短期大学)
- (11:50) 総括討論